

なとセン登録団体紹介



一般社団法人

プレーワーカーズ



子どもたちにとっての“遊びの場”

プレーワーカーとは、子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境を作る人です。子どもの遊び心を引き出し、遊ばせるのではなく、遊んであげるのではない、子どもが主体的に遊び始める姿を見守ります。

子どもは社会の一員で遊ぶ権利を持っていますが、思いのままに遊ぶことが難しくなっている今、子どもたちにとっての“遊びの場”をつくる必要があります。子どもの頃に豊かに遊び育つことで、身体や心はととも豊かに発達します。

現役プレーワーカーとして25年以上の実績がある“ぶんちゃ”こと須永力さんは、一般社団法人プレーワーカーズの代表です。活動のスタートは、「特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会」による東日本大震災被災地復興支援事業でした。まず気仙沼に拠点を置き、常設のプレーパークを開設しました。

気仙沼での活動が定着し、地元の人々が運営を引き継いでくれたのち、広い空の広がる自然に溢れた名取市に根を下ろしました。



遊びの環境づくりプレーパーク

“遊びの場”プレーパークは、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにし、普通の公園ではなかなかすることができない焚き火や泥遊びなどもすることができます。遊びのきっかけさえあれば、子どもたちは自由な想像力で様々な遊びを生みだします。この生み出す力こそ必要不可欠な生きる力になると考えます。でも残念ながら今の子どもたちには様々な制約があり、遊びの環境はととも貧しい状況になっています。だから、プレーワーカーズは、子どもたちの居場所づくりのためにひた走ります。

名取市下増田小学校南側の稲を刈った田んぼで、10日間連続プレーパークを実施しました。

田んぼという「場所」と、木という「材料」を用意して置いただけで、子どもたちはあっという間に秘密基地を次々と作り上げました。



これから・・・

2017年5月から愛島の一軒家と庭を使って子どもの遊び・くつろぎの場づくりを始めました。家庭でも学校でも習い事でもない子どもの居場所です。〇〇（まるまる）と名付けたこの場所を、同じ課題意識を持つ大人も集う場にしていきたいと考えています。須永さんの今の目標は、名取市内の各小学校区に1つずつプレーパークをすることです。活動を続ける中で出来た仲間同士の繋がりと、子どもたちの健やかな成長を願う強い気持ちで、須永さんの活動のエネルギーとなっています。



みんなの居場所〇〇(まるまる)



小屋がたくさん！！

問合せ 一般社団法人プレーワーカーズ
〒981-1241 名取市高館熊野堂字飛鳥中3
TEL022-397-7507
Email info@piayworkers.org